

3-5 FDのための情報技術講習会

本講習会は、教員の授業設計・開発・運用能力の向上を図るため、情報技術を活用した授業運営方式の紹介と授業設計の工夫、電子教材の作成、Webサイトによる学生授業アンケートの手法、著作権の対応など、関連知識の講習と情報技術の習得を演習形式で行う学外FD事業である。講習会の企画・運営・実施は、FD情報技術講習会運営委員会（委員長：山本喜一、慶應義塾大学）を継続設置して対応した。以下に活動を報告する。なお、初歩的なコンテンツ作成技術の習得は、本協会開発のWeb教材で自学自習形式で実施する。

(1) 開催要項の決定と準備

授業のシナリオ作成の重要性は理解できるが、具体的なシナリオ設計が難しいという参加者からの意見を参考に、本年度は4件の事例紹介を組み入れた。また、年間の授業計画の構成と1コマ授業のシナリオ設計について、具体的なテンプレートを提示しながら行うことにした。設計した授業シナリオについては、「ピアレビュー」として参加者同士で披瀝し合い、他者の意見を参考に新たな視点を獲得できるようプログラムに工夫を加えた。情報技術関連の実習は、インタラクティブ性やシミュレーションのツールとしての「Flash」と、自学自習コンテンツの掲載やコミュニケーションツールとしての「Web」を題材として取り上げることとし、2コースに分かれて実施することにした。

以下に開催要項を掲載する。

平成20年度FDのための情報技術講習会開催要項

1. 開催日程：平成21年3月11日(水)～13日(金)
2. 会場：大阪経済大学 F館 コンピュータ教室（大阪府東淀川区大隅2-2-8）
3. 対象者：授業改善を希望する私立大学の教員（助教含む。職員は対象外です）
4. 講習会概要

教員の授業設計・開発・運営能力の向上を目指し、情報技術を活用した授業運営方法の紹介と授業設計の工夫、電子教材の作成等について、講義や演習、PCを利用した実習を行い、教員の教育力向上に資するものです。

5. 本講習会が目指すFD支援

大学設置基準の一部改正により、平成20年度からすべての大学や短大において教育能力を向上させるための研修・研究の実施が義務化され、多くの大学がいわゆる「ファカルティ・ディベロップメント（FD）」の実施のための組織的な取り組みを始めていますが、FDの成功事例などの紹介にとどまっており、本格的な相互研修、授業評価、ワークショップを含めた体験活動等が極めて少ないのが実状です。

そこで、本協会では、「私立大学教員の授業改善調査」の結果を踏まえて、次のようなプログラムの講習会を企画しました。

調査の中で多くの教員は、「動機付けや学習意欲を高める授業設計が難しい」、「授業中の学生の反応をキャッチアップし、理解度に応じた授業の実現」を指摘しています。このことから、授業の設計および運営についての基礎的な理解と参加者による一コマ授業のシナリオ作りおよびピアレビューを行い、授業のデザイン作りについて理解を深めていただきます。その上で、シナリオを実践する上で必要とされる教材作成

の技能として、ITを活用した実習をしていただきます。

6. 講習の概要

1日目 ■ ファカルティ・ディベロップメントとITの活用

・ 教員が授業で直面する課題、例えば学習意欲の低下、大学の支援のあり方、ITだけでは効果が上がらない問題等について、私情協の授業改善調査を参考に、FDにどのようにITを活用することが望ましいのか、課題と展望を解説します。

■ 年間の授業計画 ～授業スタイルとIT～

・ ITを活用したさまざまな授業スタイルを紹介します。座学中心の講義、講義とeラーニングとのブレンディッドラーニング等、授業の目的に応じたIT活用スタイルを選択できるよう解説します。

■ シナリオ設計を重視した授業事例紹介

・ 授業実施にあたり、効果的にITを活用している授業事例について、特にそのシナリオ設計の観点から紹介します。

紹介予定事例)

- ・ 会計学：事前事後学習にeラーニングの手法を授業に組み入れている事例
- ・ 経営学：現場情報の提供を映像コンテンツにより行い、意見や感想を通じて主体的な学習を実現している事例
- ・ 機械工学：学生の習熟度別にオンデマンドの授業をWeb上に構築し、ネットワーク上で個別指導を実現している事例
- ・ 建築工学：Web教材のシミュレーションと講習用Web教材を用いて現実感覚を備えた理解を可能にし学習の動機付けを実現している事例

■ 1コマの授業シナリオの設計

・ 授業の中に効果的にITを組み入れる手法についてその解説を行った後、各自の授業プランに基づいた授業シナリオ作成演習を行います。

- ① 授業の組み立て方（計画・開発・評価・改善）
- ② 参加者各自の授業シナリオ試作

2日目 ■ 授業におけるIT技術の活用

・ 授業で実践できるIT技術の紹介を行います。現場情報をWebに掲載し現実感覚を養う手法、携帯電話を利用した理解度把握、授業アンケートの方法等について紹介します。

■ 試作シナリオの見直し

■ 授業シナリオのピアレビュー ～新たな気付きを得るために～

・ 各学問分野別に代表者に作成したシナリオを発表いただき、内容について意見交換を行います。

■ コンテンツ作成技術の実習

教材作成の実習は、以下の2コースに分かれ、その上で、教材作成に不可欠なソフトウェアの操作方法を習得いただき、コンテンツの試作も行います。

A. Flash コース

本コースでは、Flash CS3を使用し、小テストやシミュレーション等、インタラクティブなコンテンツ作成を目指します。

B. Web作成コース

本コースでは、フリーで利用できる'KompoZer'を使用します。主に下記の機能の習得を目指します。

- ・ PowerPoint等で作成したコンテンツのWeb掲載
- ・ 画像や表を含むコンテンツの作成

- ・リンクを活用したコンテンツの作成
- ・映像素材の取り込み
- ・アンケートや小テストの作成

3日目■コンテンツ作成技術の実習

- ・前日に引き続き、実習を行います。

■総合実習

- ・コンテンツ作成技術習で習得した技術を基に、各自が作成した授業シナリオの中で使用する教材の作成を行います。

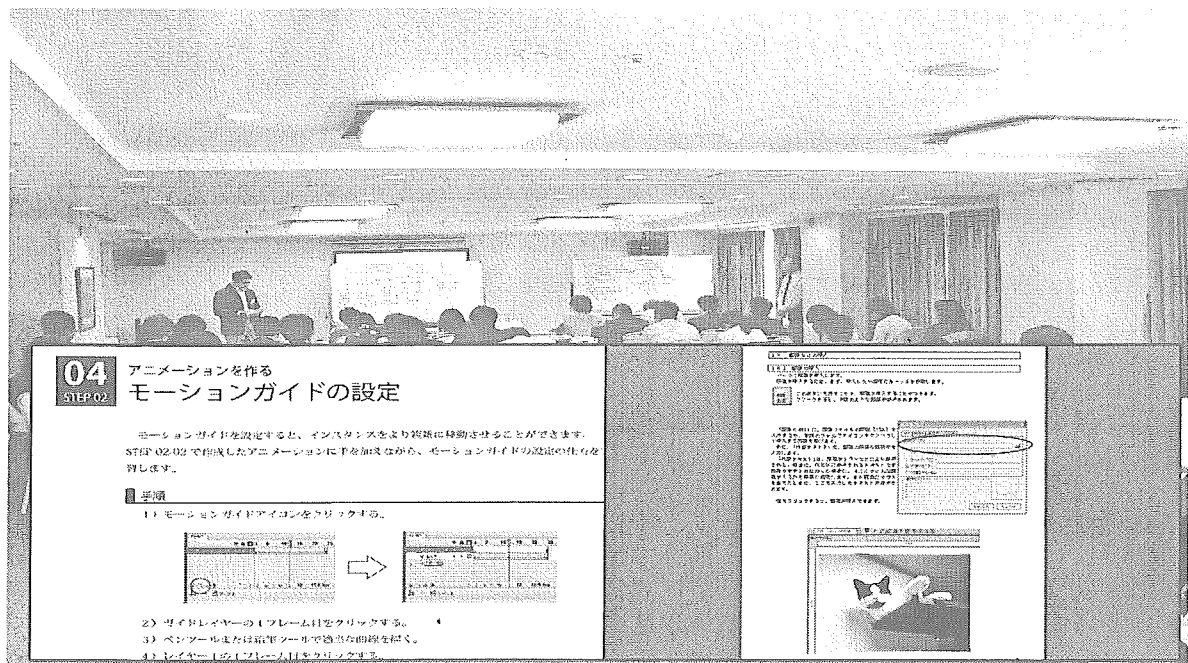
■全体発表

- ・本講習の成果を深めるために、優れた授業シナリオおよび教材作成等について紹介し合います。
- ・学問分野別にグループを構成し、グループ内での相互発表を行った後、グループ間での全体発表を行います。

(2) 開催結果と次年度の計画

参加者は62大学、10短期大学の111名であった。開催結果の詳細は、資料編【資料15】を参照されたい。

アンケートによると、学内でのFDに何らかの形で本講習会の成果を活かしていきたいという声が多く、所期の目標は達成されたものと思われる。初めて取り入れた授業シナリオのピアレビューであったが、グループごとに運営の方法が異なる部分があり、満足度にバラつきが見られた。次年度は緻密な運営計画を立て、グループごとに偏りのない運営を行うこととしている。また、技術講習部分と授業設計に関する部分では、講習を受ける層が異なるため、講習の日程を分割し、参加者個人の必要に応じて適切な講習が受けられるよう、講習会の日程編成を分割するなどの検討をすすめている。



FDのための技術講習会テキスト